

LRQA 独立保証証明書

ナブテスコグループの 2023 年環境・社会データに関する保証

この保証証明書は、契約に基づいてナブテスコ株式会社に対して作成されたものである。

保証業務の条件

LRQA は、ナブテスコ株式会社（以下、会社という）からの委嘱に基づき、コーポレート WEB サイト：サステナビリティページで公開される 2023 年（2023 年 1 月 1 日～12 月 31 日）のナブテスコグループの環境・社会データ（以下、報告書という）について、ISAE3000（改訂版）及び温室効果ガスについては ISO14064-3:2019 を用いて、限定的保証レベルの独立保証業務を実施した。

LRQA の保証業務は、会社の国内外のグループ会社を含む連結会社の運営及び活動¹に対して、以下の要求事項を対象とする。

- 以下の選択されたデータについて、報告書が会社の定める報告手順に従っていることの検証
- 以下の選択された環境・社会データの正確性及び信頼性の評価
 - エネルギー使用量（エネルギー種類毎の内訳含む）
 - GHG 排出量（スコープ 1, スコープ 2 [マーケット基準・ロケーション基準], スコープ 3）^{2 3 4}
 - 水使用量・排水量
 - 廃棄物排出量・埋立量・有害廃棄物排出量
 - PRTR 対象化学物質使用量・VOC 大気放出量
 - メインサプライヤーの GHG 自主削減目標設定割合
 - 労働災害度数率⁵
 - 職業性疾病発生率⁶

LRQA の保証業務は会社のサプライヤー、業務委託先、及び報告書で言及された第三者に関するデータ及び情報を除くものとする。

LRQA の責任は、会社に対してのみ負うものとする。本声明書の脚注で説明されている通り、LRQA は会社以外へのいかなる義務または責任を放棄する。会社は報告書内の全てのデータ及び情報の収集、集計、分析、公表、及び報告書の基となるシステムの効果的な内部統制の維持に対して責任を有するものとする。報告書は会社によって承認されており、その責任は会社にある。

LRQA の意見

LRQA の保証手続の結果、会社が全ての重要な点において、

- 自らの定める基準に従って報告書を作成していない
- 正確で信用できる環境・社会データを開示していない

ことを示す事実は認められなかった。

この保証証明書で表明された検証意見は、限定的保証水準⁷、及び検証人の専門的判断に基づいて決定された。

¹ データのうち、エネルギー使用量、GHG 排出量（スコープ 1,2）および水使用量は、ナブテスコ株式会社及び国内外連結子会社を対象とする。GHG 排出量（スコープ 3 排出量）とメインサプライヤーの GHG 自主削減目標については、ナブテスコ株式会社単体を対象とする。その他はナブテスコ株式会社単体および国内連結子会社を対象とする。

² 温室効果ガス排出量の算定は固有の不確かさを持つ。

³ Scope 1 GHG 排出量は、エネルギー起源 CO₂ のみを対象とする。

⁴ 所有もしくはリースによる営業車の使用による CO₂ 排出は算定対象外とする。

⁵ 算定範囲内における労働災害による死傷者数を延労働時間数（百万時間）で除したもの

⁶ 算定範囲内における職業性疾病による死傷者数を延労働時間数（百万時間）で除したもの

⁷ 限定的保証業務の証拠収集は、合理的保証業務に比べて少ない範囲で行われ、各拠点を訪問して元データを確認するより集計されたデータに重点を置いている。従って、限定的保証業務で得られる保証水準は合理的保証業務が行われた場合に得られる保証に比べて実質的に低くなる。



保証手続

LRQAの保証業務は、ISAE3000（改訂版）及びGHGについてはISO14064-3:2019に従って実施された。保証業務の証拠収集プロセスの一環として、以下の事項が実施された。

- 報告書内に重大な誤り、記載の漏れ及び誤りが無いことを確認するための、会社のデータマネジメントシステムを審査した。LRQAは、内部検証を含め、データの取り扱い及びシステムの有効性をレビューすることにより、これを行った。
- 環境・社会データの収集と報告書の作成に関わる主たる関係者へのインタビューを行った。
- サンプルング手法を用いて、集計されたデータの再計算と元データとの突合を行った。
- 集計された2023年の環境・社会データ、並びに記録を検証した。
- データマネジメントシステムの運用状況を評価する為、ナブテスコ株式会社 津工場及び神戸工場を訪問し、データの収集及び記録管理の実施状況の確認を行うと同時に、敷地範囲において排出源の現場確認を実施した。

観察事項

保証業務における観察事項及び発見事項は以下の通りである。

環境・社会データにおける更に有効な管理を実現する為、会社による報告とマネジメントシステムの向上が期待される。

適格性及び独立性

LRQAはISO14065 温室効果ガス—認定又は他の承認形式で使用するための温室効果ガスに関する妥当性確認及び検証を行う機関に対する要求事項、ISO17021-1 適合性評価—マネジメントシステムの審査及び認証を行う機関に対する要求事項—第1部 要求事項 の認定要求事項に適合する包括的なマネジメントシステムを導入し、維持している。これらは国際会計士倫理基準審議会による国際品質管理基準1と職業会計士の倫理規定における要求も満たすものである。

LRQAは、その資格、トレーニング及び経験に基づき、適切な資格を有する個人を選任することを保証する。全ての検証及び認証結果は上級管理者によって内部でレビューされ、適用された手続が正確であり、透明であることを保証する。

LRQAは会社に対して、ISO9001、ISO14001、ISO45001、IATF16949、IRISの認証を実施している機関である。実施した業務はこれらの認証及び検証のみであり、それ自体がLRQAの独立性あるいは中立性を損なうものではない。

Shoutaro Kamabata

2024 年 5 月 27 日

川端 将太朗

LRQA 主任検証人

LRQA リミテッド

神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-3-1 クイーンズタワーA 10F

LRQA reference: YKA4005454

LRQA, its affiliates and subsidiaries, and their respective officers, employees or agents are, individually and collectively, referred to in this clause as 'LRQA'. LRQA assumes no responsibility and shall not be liable to any person for any loss, damage or expense caused by reliance on the information or advice in this document or howsoever provided, unless that person has signed a contract with the relevant LRQA entity for the provision of this information or advice and in that case any responsibility or liability is exclusively on the terms and conditions set out in that contract.

The English version of this Assurance Statement is the only valid version. LRQA assumes no responsibility for versions translated into other languages.

This Assurance Statement is only valid when published with the Report to which it refers. It may only be reproduced in its entirety.

Copyright © LRQA, 2024.